<NEWS RELEASE>

2026 年 10 月 29 日
WILLER ACROSS 株式会社
京王バス株式会社

【観光庁採択事業】
WILLER ACROSS×京王バス、高速バスの快適な利用環境づくりに向けた「マナーコミック実証」を開始
～漫画×デジタルで、インバウンド観光客のマナー・ルールへの理解を促進～

パートナーとの共創で社会に新たな価値を生み出す WILLER ACROSS 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：宿谷 勝士、以下「WILLER ACROSS」）と、バスタ新宿から山梨・長野方面を中心に、多くの路線を運行している京王バス株式会社（本社：東京都府中市、代表取締役社長：井上 晋一、以下「京王バス」）は、観光庁の採択を受けた実証事業として、2026 年 11 月から、高速バスを利用するインバウンド観光客に向けた「マナーコミック」の実証を開始します。

本実証では、日本の漫画文化とデジタル施策を組み合わせ、乗車前から移動中まで、インバウンド観光客が日本の交通機関におけるマナーやルールを自然に理解できる啓発ツールを開発・展開します。言語や文化の違いを踏まえた情報の届け方を検証し、利用者の理解促進を図ることで、国籍を問わず誰もが気持ちよく利用できる高速バスの環境づくりを目指します。

近年、インバウンド観光客の増加に伴い、公共交通においても、さまざまな文化や習慣を持つ利用者が快適に過ごせる環境づくりが重要になっています。高速バスでは、手荷物の取り扱いや車内での過ごし方、安全に関するルールなど、利用者への情報提供や理解促進が求められています。

そこで両社は、従来の多言語掲示や車内アナウンスに加え、漫画イラストをベースとした啓発ツールを開発します。コミック冊子・リーフレット・動画・メールなどを活用し、旅行者が旅マエから旅ナカまでのさまざまなタイミングで情報に触れられる仕組みを構築します。

本実証では、漫画とデジタルを組み合わせた啓発施策が、旅行者の理解促進や車内空間の環境向上につながるかを検証します。得られた知見をもとに、高速バス業界への展開を見据えるとともに、交通・観光事業者が抱えるさまざまな課題の解決につながるソリューション開発へとつなげていきます。

本実証のポイントは、以下 5 点です。

①高速バスの利用環境向上に向けた解決モデルを検証

地域や路線の特性が異なる交通事業者へのヒアリングを通じて把握した課題をもとに、個社にとどまらず、高速バス業界全体への展開を見据えた啓発ツールの開発・検証を行います。

②「注意する」から「理解・納得を促す」へ、ノンバーバル表現を活用した啓発

日本の漫画文化を活用し、一方的にルールを伝えるのではなく、旅行者が楽しみながらマナーやルールを理解できるコンテンツを開発します。言語や文化の違いを超えて直感的に伝えることで、旅行者の理解促進につなげます。

③旅マエから旅ナカまで、旅行者の行動導線に合わせてタッチポイントを設計

予約完了メール（1to1）、バスターミナル（リーフレット・サイネージ）、車内（冊子・モニター）の 3 つの接点を活用し、乗車前から移動中まで、旅行者が必要な情報に自然に触れられる導線を設計します。

④現場の声を起点に、交通事業者とともに実効性を検証

乗務員・運行スタッフなど現場の声と、交通事業者が抱える運営に関する知見を踏まえて啓発ツールを開発します。実際の利用環境や業務負担の改善につながるかを検証します。

⑤ 旅行者と事業者の双方から効果を検証

旅行者へのアンケートと乗務員への調査を通じて、啓発ツールによる理解度や行動改善意識、車内環境の変化を検証します。さらに、情報を届けるタイミングや方法による効果の違いを分析します。

WILLER ACROSS は、これまで交通・観光領域で培ってきたネットワークやノウハウを活用し、「現場の課題」×「旅行者のニーズ」×「異なる分野のアイデア」を掛け合わせることで、地域や事業者ごとの課題に合わせたソリューションを開発しています。

本実証では、京王バスの協力のもと、インバウンド観光客が日本の交通機関におけるマナーやルールを理解しやすくなる情報提供のあり方を検証します。漫画というコンテンツの制作にとどまらず、乗車前から移動中まで、どのようなタイミング・方法で情報を届けることが理解促進につながるのかを検証し、利用者と事業者の双方にとってよりよい利用環境づくりを目指します。

今後は、本実証で得られた知見をもとに、高速バス業界全体への展開を進めるとともに、観光事業者や自治体・DMO など、さまざまな課題を抱える事業者・地域へのソリューション提供につなげていきます。WILLER ACROSS の全国 140 社以上のバス事業者とのネットワークや、80 社以上が参画する Japan Bus Lines 協議会との連携も活かし、交通・観光領域における新たな課題解決モデルの創出を目指します。

■実証事業概要

事業名：公共交通（高速バス）における乗車前・移動中マナーの漫画マナーコミック実証事業

実施期間：2026 年 11 月上旬～12 月下旬

実施場所：バスタ新宿（バスターミナル構内）および京王バスが運行する高速バス車内

（対象路線：新宿～富士急ハイランド・河口湖・忍野八海・山中湖線（中央高速バス 富士五湖線）、渋谷～河口湖線、新宿～飛騨高山線）

主な対象：インバウンド観光客

対応言語：英語・中国語（簡体字）・韓国語

主な施策：1to1 漫画メール、デジタルサイネージ、コミック冊子、リーフレット、車内モニター等による啓発

実施体制：［WILLER ACROSS］全体統括、実証設計、ツール制作管理、効果検証

［京王バス］実証フィールド提供、運行対応、フィードバック

［制作会社］漫画・動画・メール・アンケート等の制作

WILLER ACROSS が特性の異なる全国 5 社の交通事業者にヒアリングを実施したところ、手荷物の取り扱いや車内での過ごし方、安全に関するルールなど、利用者への情報提供や理解促進に関する課題が共通して挙げられました。

こうした課題に対し、本実証では、日本の漫画文化を活用し、侍・忍者・歌舞伎など日本文化をモチーフとしたオリジナルコミックを制作します。英語・中国語（簡体字）・韓国語に対応し、マナーやルールだけでなく、その背景や理由もわかりやすく伝えることで、インバウンド観光客の理解促進を目指します。

制作した漫画をベースに、乗車前から移動中まで、旅行者との接点に合わせた啓発ツールを展開します。旅マエには、インバウンド観光客への予約後メールを通じて情報を届け、旅ナカには、バスタ新宿のデジタルサイネージやリーフレット、高速バス車内のコミック冊子・車内モニターを活用します。

効果検証では、乗務員への実証前後のアンケートを通じて車内環境や利用者対応の変化を確認するとともに、インバウンド観光客への利用後アンケートで、啓発ツールの理解度、満足度、行動改善意識を測定します。これらの結果から、どのタイミング・方法で情報を届けることが、理解促進につながるのかを検証します。

※本実証は、観光庁「観光客によるマナー違反・問題行為の抑制・未然防止に向けた啓発に関する実証事業」の採択を受けて実施するものです。

■WILLER ACROSS 会社概要

WILLER ACROSS は、パートナーとの共創で社会に新たな価値を生み出す会社です。地域や企業が持つ資源・強みと、WILLER が培ってきたさまざまな知見、さらに異なる分野や発想を掛け合わせ、これまでにない体験やサービス、仕組みを創出しています。異なるものを掛け合わせる「VALUE REMIX」戦略を掲げ、パートナーとともに、新たな価値で未来をつくります。

・会社名：WILLER ACROSS 株式会社

・代表者：宿谷 勝士

・所在地：東京都中央区京橋一丁目 13 番 1 号 WORK VILLA KYOBASHI6 階

・コーポレートサイト：https://willer-across.co.jp/#company

■京王バス 会社概要

路線バスは都心から高尾山エリアに至るまで東西に幅広いエリアでの営業を展開し、高速バスは中央道を中心に約 30 の系統を運行するほか、近年では貸切バス事業にも注力し 20 両体制での営業を行うなど、時代のニーズに合わせたバスのかたちを追い求めています。また、長きにわたる高速バス運行と新宿駅西口での高速バスターミナル運営で培われたノウハウを活かして、バスターミナル東京八重洲の運営も手がけるなど事業領域を拡げています。

・会社名：京王バス株式会社

・代表者：井上 晋一

・所在地：東京都府中市晴見町 2-22 京王府中晴見町ビル

・コーポレートサイト：https://www.keio-bus.com/outline/gaiyo/minami.html

【本件に関するお問い合わせ先】
WILLER 株式会社 パブリック リレーションズ オフィス TEL:050-1745-0840 MAIL:koho@willer.co.jp（担当：鈴木/加藤）